

令和 4 年 1 月

ぎよさい だより

No 96

発行 長崎県漁業共済組合 〒850-0036 長崎市五島町 2 番 2 7 号 ☎ 095-822-1680
メール nagasaki@gyosai.or.jp



玉園稲荷神社（長崎県長崎市）

謹賀新年（令和 4 年）

西暦 2022 年の本年は、干支の寅（とら）年にあたります。寅年は十二支の第 3 番目に数えられ、寅の月は 1 月（旧暦）、寅の刻は午前四時を中心とする約 2 時間、また方角は東北東の方角を表します。
また、西暦を 12 で割り 6 余る年が寅年となります。





新年のごあいさつ

長 崎 県 漁 業 共 済 組 合
組 合 長 理 事 高 平 真 二

新年あけましておめでとうございます。

県下の漁協役職員をはじめ、漁業者の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、「ぎょさい」事業の普及に対しまして、ご理解と格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、コロナ禍で1年延期となった東京オリンピック・パラリンピックは多くの方々のおかげで無事終了し、記憶に残る大会となりましたが、新型コロナウイルス感染症は第3波、第4波、第5波と猛威を振るい感染拡大により日常生活においても新しい生活様式の実践、活動の自粛、行動制限による経済への影響も甚大となりました。

水産業界においても、新型コロナの影響による魚価の低迷や近年は、資源の悪化と海況異変による操業自粛と不漁、相次ぐ台風と豪雨、さらには異常赤潮など自然災害による漁業被害が多発し、今後の大いなる不安要素として軽視出来ないものがございます。

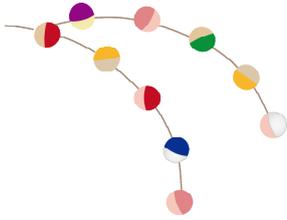
「ぎょさい」制度は、こうした不漁や自然災害に備える国の唯一の施策として、浜の再生産に寄与して参りましたが、近年の漁業環境を考えると「ぎょさい」と「積立ぶらす」が果たすべき役割が更に重要になってきています。

本県においては「ぎょさい普及推進全国運動」「令和の備えも『ぎょさい』と『ぶらす』」を組織一丸となって全国運動を展開し、加入拡大に努めるとともに、加入目標額365億円の達成に向け漁業経営安定対策事業「積立ぶらす」との連携、既存の掛金助成事業の活用等を行い、加入推進に努めて参ります。

令和4年は、行政機関並びに系統団体と連携強化を図り、より一層「ぎょさい」と「積立ぶらす」を各浦浜に広く浸透、定着させるよう全力で取り組んで参りますので、今後ともより一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様のご多幸、ご健勝、そして本年の航海安全と大漁を祈念し、新年のご挨拶といたします。





新年のごあいさつ

全国漁業共済組合連合会
会長理事 宮原 淳一

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新春にあたり、皆様のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

昨年を振り返りますと、一昨年に引き続いて新型コロナウイルス感染症が猛威をふるうなか、東京オリンピック・パラリンピックが無観客で開催されるなど、慌ただしく過ぎていった一年となりました。コロナ禍による水産物需要の減少や魚価の低迷は、今日もなお水産業界に多大な影響を及ぼしています。また、コロナ禍に追い打ちをかけるように昨年も自然災害が多発し、集中豪雨や台風被害のほか、北海道沿岸の赤潮被害、小笠原諸島の海底火山「福德岡ノ場」の噴火に伴う大量の軽石漂流による漁業被害など、これまでに経験したことがないような漁業被害が起こり、非常に厳しい漁業経営を強いられる一年となりました。

このようななか、令和3年度の「ぎょさい」と「積立ぶらす」の引受実績は、長期化する不漁や自然災害の多発による水揚金額の低下、養殖種苗の不漁等による養殖数量の減少、全国的な廃業・休業の増加などにより、過去最高となった昨年度を下回るペースで推移しています。一方、支払実績は、恒常化しているさんま・さけ等の不漁に加えて、近年は比較的安定した生産を続けていた魚類養殖業やのり養殖業でもコロナ禍の影響を強く受けて価格安が生じたため、過去最高となった昨年度を上回るペースで推移しています。「ぎょさい」と「積立ぶらす」の補償によって不漁や自然災害、コロナ禍の厳しい漁業経営を支えることができたものの、漁業経営を取り巻く環境は厳しさを増してきており、漁業経営のセーフティネットとして「ぎょさい」と「積立ぶらす」が果たすべき役割が更に重要になってきています。

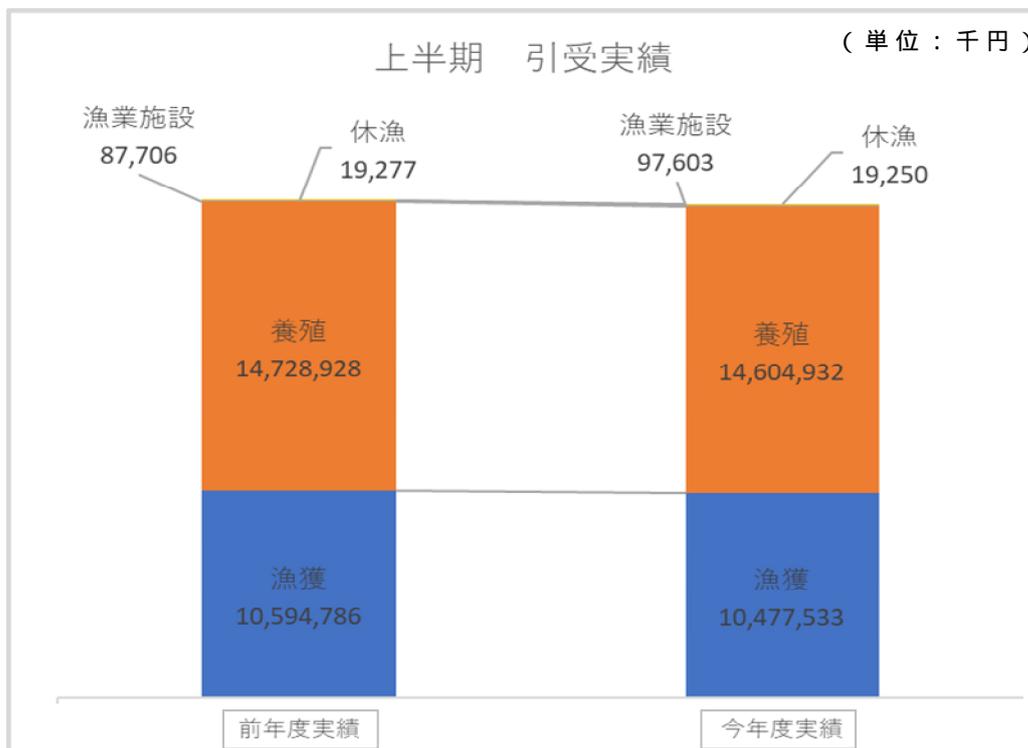
水産業の将来に向けた改革が進められていくなかで、「漁業収入安定対策の機能強化及び法制化」が引き続き水産庁で検討される予定です。漁業経営の安定は水産改革の推進において不可欠であり、漁業者等からの「ぎょさい」と「積立ぶらす」への期待はかつてないほど高まっています。この期待に応えるために、漁業共済団体として漁協系統・漁業者団体の皆様と緊密に連携し、これからも漁業者の方々に自然災害対策・経営安定対策として「ぎょさい」と「積立ぶらす」を活用していただけるよう、より良い制度の実現に向けて取り組んで参ります。

最後になりますが、コロナ禍の影響が続くなか、普及推進にご理解・ご協力頂いている漁業関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。今後もしばらくは予断を許さない状況が続きますが、ワクチン接種の効果等によって、感染者数が減少傾向となり、一日も早く収束することを願っております。これから人や物の移動制限が徐々に緩和されることで経済活動が活性化し、水産物消費の拡大や魚価の回復に繋がることが大いに期待されます。新たな一年が災害のない豊漁・豊作となることを祈念するとともに、漁業経営を守る「ぎょさい」と「積立ぶらす」のより一層の浸透・定着に努めて参りますので、皆様の変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



1. 上半期共済引受実績

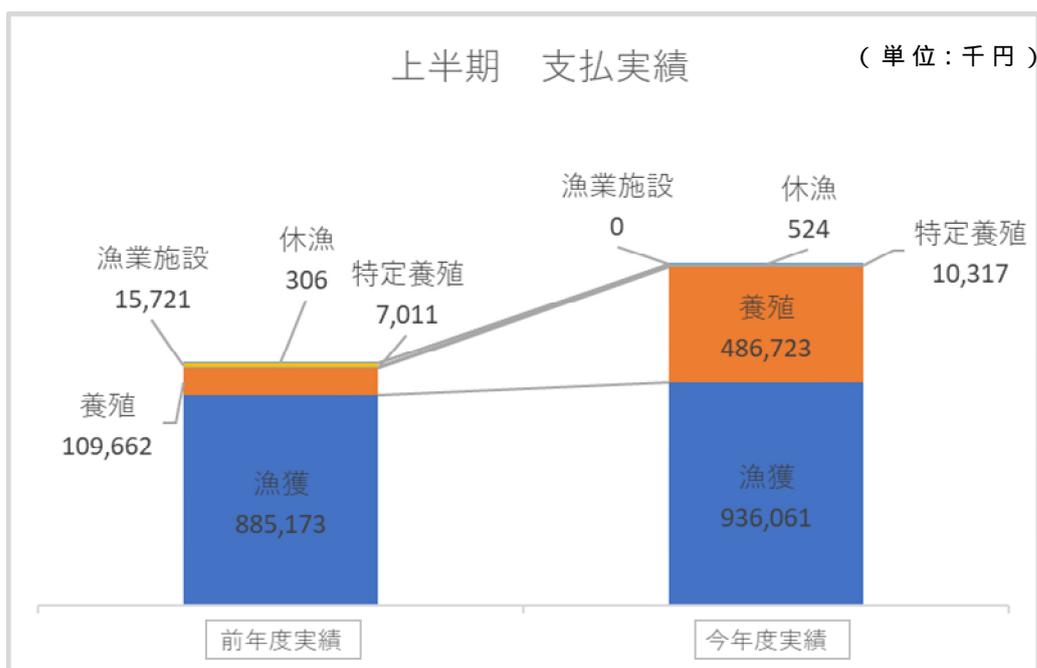
本年度の上半期引受実績は、251億9千9百万円となり、計画目標金額365億円に対して69%の達成率で、前年度実績に対して伸長率99%、2億3千1百万円の減少となった。



- (注) 1. 過年度契約の変更分を除く。
2. 千円単位の表示金額は、百円の位を四捨五入したものである。

2. 上半期支払共済金実績

本年度の上半期支払共済金は総額で、14億3千3百万円となり、漁獲共済で734件の9億3千6百万円、養殖共済で58件の4億8千6百万円、特定養殖共済で5件の1千万円で、これを前年度上半期実績と比較すると、合計で4億1千6百万円の支払増加となった。



- (注) 千円単位の表示金額は、百円の位を四捨五入したものである。

3. 上半期積立ぷらす（漁業収入安定対策事業）の実績

1. 加入実績 530件 16億9千万円

区分	件数	漁業者積立額
漁獲	332	115,952
養殖	198	53,979
合計	530	169,931

（単位：万円）

2. 払戻実績 903件 49億8千万円

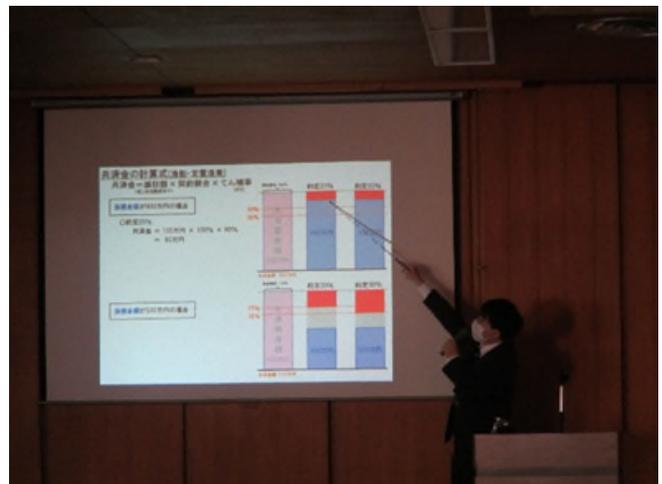
区分	件数	積立払戻金	国庫補てん金	払戻補てん金
漁獲	741	91,085	273,294	364,379
養殖	156	33,294	99,980	133,274
特定養殖	6	168	504	672
合計	903	124,547	373,778	498,325

（単位：万円）

「ぎょさい」担当職員研修会

令和3年11月26日(金)、漁協会館5階会議室において、「ぎょさい」担当職員研修会を開催しました。今回は新型コロナウイルスの影響を鑑み規模を縮小し、県下13名の担当職員に出席していただきました。

研修会では、主に漁獲共済・積立ぷらすの内容説明をおこない、ぎょさい制度への理解を深めていただきました。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年も何卒よろしくお祈りします。皆様年末年始はどのように過ごされたでしょうか？前回の年末年始に引き続き、なかなか外出することが憚られる状況で家で過ごされた方も多いことと思います。今年こそは新型コロナウイルスの蔓延が終息し、自由に外出できるような日常が戻ることを願ってやみません。(や)

令和の備えも

ふぎよさいと
ぷらすい



ぎよさい普及推進全国運動

令和2年4月～令和5年3月

